

# 動画危険予知訓練による作業の見える化

## ＜従来の危険予知訓練＞

作業の一瞬を写真やイラストにしているため、動作の流れが分かりにくい



## ＜作業の見える化＞

実際の作業を動画撮影・再生して危険予知訓練の実施

＜動画撮影のポイント＞

- ① 普段の作業を撮影して使用する
- ② 動画時間は1分ぐらいがベスト
- ③ コンパクト、ズーム・オートフォーカス機能付でパソコン取り込み可の撮影機が便利



動画KYTシート	検討Gr: Aグループ 氏名: Oさん、Fさん、Sさん、Iさん
廃液ドラムのトラックへの荷役作業	
	<p>1)どんな危険がひそんでいるか</p> <p>○ ① 荷台の運転手が後ろを確認せず後退した為荷台より落下する。(Fさん)</p> <p>○ ② フォークリフト作業エリアが、通行止めされていないため、通行者がバックしてきたフォークリフトと衝突する。(Oさん)</p> <p>○ ③ ドラムクリッパーからドラムが離れていないのにトラック運転手がドラム缶に手を出し、ドラム缶の間に手を挟む(Iさん)</p> <p>○ ④ フォークリフト運転中のパトランプが切れていたため、通行者が気付くのが遅れ、バックしてきたフォークリフトと衝突する。(Sさん)</p> <p>○ ⑤ 廃液ドラムをつかんだ状態でフォークを高く上げ、急に旋回したためフォークリフトが転倒。放り出された運転手が下敷きになる。(Oさん)</p>
	2)これが危険のポイントだ(○、●をつける)
	<p>3)あなたならどうする。</p> <p>・作業前に荷を高く上げて急旋回しないことを再度周知徹底する。</p> <p>・作業前にフォークリフト作業エリアを通行止めする。</p> <p>・作業前にトラック運転手も交えて、KYを行なう。</p>

## ＜動画危険予知訓練のメリット＞

- ① 動作や力の入れ具合の危険予知ができる
  - ② 前後の手順も含めた危険予知ができる
  - ③ 自分の作業を他人の目線で見ることができる
  - ④ 知らない作業も同じ立場で危険予知できる
  - ⑤ より具体的な作業マニュアルの作成ができる
- etc